

# 小施策評価シート (平成 28 年度実績評価)

施策コード	19	施策名	社会を担う人材の育成	
小施策コード	19-1	小施策名	若い世代の活躍支援	
小施策 主管課等コード	135000	小施策 主管課等名	経済企画課	
評価責任者名	小原 勝博		内線番号	3710
評価シート作成者名	高橋 博文		内線番号	3711

## Step 1 施策目標の達成状況

まちづくり指標	目指す 方向	単位	25年度 実績 (当初値)	27年度 実績	28年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
地域若者サポートステーションの支援を受けて就職を決定した人数*	↑	人	116	116	66	140	140
ジョブカフェいわての利用者数	↑	人	29,529	32,310	31,938	30,000	30,000

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標)

\* 厚生労働省への報告が義務付けられている対象者の人数を採用しているが，H27から報告対象が変更されたため，指標も見直した。

## Step 2 小施策の全体像

### 小施策の概要等（構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり）

対象（誰（何）を対象として行うのか）	意図（対象をどのようにしたいのか）
市民	社会で活躍できる。
現状と課題	<p>若者を取り巻く労働環境は、非正規雇用などの不安定な雇用，求職側と求人側のニーズが一致しないミスマッチ，県外に就職先を求める若者が多いことなどの課題がある。また，教育や職業訓練などを受けない無業者となっている，いわゆるニートと呼ばれる若者が存在するなどの課題もある。</p> <p>このため，在学中からキャリア教育などによる就労観の育成や地場企業を知る機会を設けるなど，若者が社会で活躍できるための様々な支援を行う必要がある。</p> <p>また，女性の労働力率は，子育て期に当たる30歳代で低下するものの，就業希望者は多く，非常に大きな潜在力となっている一方で，さまざまな課題があることをから，就業や社会参加など個々に支援が必要となっている。</p>
取組の方向性	若い世代に対して，就業や職場定着などに係る情報提供や各種支援を行い，就学等から就業へ円滑に移行できる環境を整える。

## Step 3 小施策指標の推移

小施策の指標	目指す方向	単位	25年度実績 (当初値)	27年度実績	28年度実績	31年度目標値	36年度目標値
地域若者サポートステーションの支援を受けて就職を決定した人数*	↑	人	116	116	66	140	140
ジョブカフェいわての利用者数	↑	人	29,529	32,310	31,938	30,000	30,000
盛岡公共職業安定所管内の就職を希望する高校3年生のうち県内就職を希望する者の割合	↑	%	-	67.3	65.0	70.0	70.0

（↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標）

\* 厚生労働省への報告が義務付けられている対象者の人数を採用しているが，H27から報告対象が変更されたため，指標も見直した。

## Step 4 市民ニーズの把握

ジョブカフェいわての利用者数が3万人近くで推移しており、ニーズが高いものと判断する。

また、若者の会社への定着を図るために実施した「平成28年度新社会人定着支援事業」の参加者に対して行ったアンケート調査によると、「とても良かった」が75.0%、「良かった」が25.0%と、高い評価を得ており、継続実施が期待されているものと判断する。

## Step 5 役割分担分析

### 1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	若い世代に対して、就業や職場定着などに係る情報提供や各種支援を行う。	30
	国・県・ 他自治体	国・県の施策と連携して効果的な支援を行う。	30
	市民・ NPO	若い世代に対して、ボランティア活動や地域活動の場を提供する。	10
	企業・ その他	ワーク・ライフ・バランスの実現や女性が活躍できるよう職場環境の整備等を行う。	30

### 2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

各主体がそれぞれの役割を果たしていくことにより、問題解決に繋がるものであり、市の役割の比重が拡大したり縮小するというものではない。

## Step 6 前年度に分析した課題・改革改善案に対するアクション

### 1 平成28年度に分析した問題点・課題に対する改革改善案

盛岡広域の市町が連携して、各市町の広報誌やホームページに「ジョブカフェいわて」、「もりおか若者サポートステーション」に関する記事を掲載する等、周知活動を強化する。

### 2 1の改革改善案の実施状況

(A：着手済, B：平成29年度に着手(予定含む), C：未着手または見送り)

改革改善案	具体的な取組(予定)内容	状況
周知活動の強化	広報やホームページによる周知を行った。	A

### 3 2で挙げた取組状況がCの場合、その原因

## Step 7 成果・問題点の把握

### 1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策の中で成果をあげた点

若年者(概ね35歳未満)に対し、就職相談や職業意識の啓発を行う「ジョブカフェいわて」の利用者数が目標値を超えて推移しており、またカウンセリング等の支援を受け、就職した者の人数も一定の水準を保っている。

#### (2) 成果をあげた要因

県事業との連携により、きめ細やかなカウンセリング等が実施されたため。

#### (3) さらなる成果向上に向けた課題(課題がある場合に記載)

### 2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策における現状の問題点

「もりおか若者サポートステーション」の支援を必要とする若年無業者の全容の把握が困難である。

#### (2) 現状の問題点が生じている原因

若年無業者になる背景には、心身の健康上の理由や人間関係に対する不安など、複雑な要因があり、その定義や程度による判断が困難であること、また、家族が公にすることを避ける例も多いためと考えられる。

#### (3) 分析した原因の解決に向けた課題

若年無業者(いわゆるニート)やその家族に対する「もりおか若者サポートステーション」の周知方法を工夫する必要がある。

## Step 8 小施策と構成事業の関係性

- 1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業  
該当事業なし。
- 2 1で記載した事業についてその理由
- 3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）

## Step 9 Step7, 8を踏まえた改革改善案

広報やホームページに「もりおか若者サポートステーション」に関する記事を掲載する等，受託団体との連携による周知活動を強化する。